

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.244 2018.6.22

**県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」
6月17日(日曜日)放送「議長インタビュー」**

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」(テレ玉)では、各定例会の様様や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、17日(日曜日)に放送した「議長インタビュー」の内容をお伝えします。

また、あさって24日(日曜日)朝10時から「副議長・議会運営委員長インタビュー」が放送されますので、ぜひご覧ください。



☆詳しい放送スケジュールは、県議会のホームページをご覧ください。≫

INDEX



県議会広報
こんにちは県議会です
「議長インタビュー」



議事堂の花
生け花のご紹介



県議会広報

【テレビ番組「こんにちは県議会です」】「議長インタビュー」

〈齊藤正明 議長〉

昭和24年生まれの69歳

埼玉県議会自由民主党議員団

西第2区入間市選出

平成7年県議会議員初当選(現在5期目)

これまで、県土整備委員長、地方分権・合併・財源対策特別委員長、議会運営委員長などの要職を歴任し、平成23年には、埼玉県監査委員を務め、今年3月、埼玉県議会議長に就任。

☆議長あいさつは、県議会のホームページからご覧いただけます。☆

〈議長としての抱負〉

—はじめに、番組をご覧の皆さんにごあいさつをお願いします。—

議長 県民の皆さま、こんにちは。埼玉県議会第121代議長の齊藤正明でございます。どうぞよろしく願いをいたします。



—続いて、議長に就任されての抱負をお聞かせください。—

議長 はい。人口減少が進む中、埼玉県では、福祉・医療の充実や中小企業の振興、青少年の健全育成など、県民生活に深く関わる多くの課題を抱えております。このような課題を解決していくためにも、県議会の果たす役割と責務は極めて重要です。

私も微力ではありますが、これまで培った経験を生かして、県民誰もが心豊かに安心して暮らすことができる社会を実現するために全力を尽くしてまいります。

〈議長職について〉

—さて、議長に就任されてから2カ月余りが経ちましたが、どのような感想をお持ちですか。—

議長 はい。2月定例会において、議長職という大役を拝命いたしました。その責任の重さを痛感するとともに、その役割について再認識をしているところです。

また、この職を全うする中で得た知識や経験などを県民の皆さまにいかにして還元するか。これが大事になってくるなと感じています。

〈政治家を志したきっかけ〉

—ここからはフリップに沿って、お話を伺ってまいります。1つ目です。政治家を志したきっ



かけをお聞かせください。—

議長 これといったきっかけは難しいんですが、私が子どもの頃、精肉店を営んでいた両親が周囲の方々に対して心遣いをしながら一生懸命働く姿を見てまいりました。また、私を含めまして兄弟3人、それぞれに仕事を与えられ、その仕事をしてから学校に行くという毎日を過ごしていました。

そして、小学校4年生からは地元のボーイスカウト活動で、社会人になってからもボランティア活動に力を注いでまいりました。このように、幼い頃から親の背中を見ていたこと、あるいは与えられた役割を果たしていく中で、人のため、地域のために働くということが自然に身に付いたんじゃないかと思っております。

—ボランティア活動に力を注がれた、ということですが、具体的にどのようなことに取り組まれてきたのですか。—

議長 はい。一番力を注いだのは青少年相談員の活動であります。青少年相談員というのは、県内の各市町村で良きお兄さん、お姉さんとして活躍する青年ボランティアのことでありますけれども、夏には毎週のように子ども会のゲーム指導やキャンプファイヤー、冬にはスキー教室を開催するなど、子どもたちのために一生懸命活動していました。こうした多くの青少年との触れ合いや社会人との交流は、自分自身の成長にもつながったと考えております。これは、その後の人生に大いに役立っているものと考えています。

—そうしたこれまでの活動があってこそその決意、ということでしょうか。—

議長 はい。周囲の方々のお役に立ちたいという思いは常に持っておりました。そうした中で、実は、私の父は市議会議員をしておったのですが、病気で仕事を続けられなくなってしまったんですね。その時に、自分が父の思いを引き継ぎ、地域のために力を尽くしたいと思ったわけであります。今もその思いは変わりません。地域の皆さまのご推挙には心から感謝をしてるところであります。

《東京オリンピックについて》

—話は変わりますが、埼玉県ではラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなど大きな国際大会の開催が控えていますよね。—



議長 はい。2019年に開催をされますラグビーワールドカップは県営熊谷ラグビー場で、そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは県内4会場で、競技が開催をされることになっています。

—楽しみですね。オリンピック・パラリンピックといえば、今年開催された平昌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会では日本人選手の目覚ましい

活躍が見られましたね。—

議長 はい、そうですね。先日、実は平昌パラリンピックで5つのメダルを獲得をされた、アルペンスキーの村岡桃佳選手が県議会にお越しになりました。大舞台での日本人選手の活躍は、特に本県出身の選手の活躍は非常にうれしく、また、大きな励みにもなったわけですが、2年後の東京大会でも本県にゆかりのある選手が世界に羽ばたく姿が見られることを大いに期待しているところであります。

—議長は、1964年に開催された前回の東京オリンピックでボランティアをされているんですね。—

議長 はい。前回の大会の時は15歳、高校1年生でありました。当時は私が所属するボーイスカウトの一員として、朝霞の射撃場で国旗掲揚を担当させていただきました。54年経った今でも強く印象に残っています。こうして自分が主体的に大会に関わることによって、その歴史の当事者となることができるんですね。感動が何倍にも膨れ上がります。県民の皆さんにもぜひこの機会にボランティア活動などに参加をしていただいて、一緒に大会を盛り上げていただければありがたいと思っています。

—国内外から訪れるお客様に県民の気持ちが伝わるといいですね。—

議長 はい。そのとおりです。埼玉を訪れる方々を万全のおもてなしでお迎えするため、ソフト面の充実にも力を入れていきたいと、そんなふうに思っております。

《印象に残っていること》

—さて、議長は現在5期目ですが、これまでを振り返って、特に印象に残っていることはなんですか。—

議長 はい。私はこれまでの選挙活動の中で、いろんなつらい思いなども経験をいたしましたけども、それ以上に人のありがたみや温かみを感じてまいりました。そのことが特に印象に残っています。

—つらいときこそ、人とのつながりの大切さが身に染みますよね。—

議長 ええ。そこで感じた人の温かみというのは実は私だけでなく、家族も感じています。この経験があったからこそ、県民の皆さまのお役に立つために頑張りたいという思いが一層強くなったというふうに感じております。

—議長は、これまで支えてくださった方々の思いに応えていく、という強い決意を持っていらっしゃるんですね。—

議長 はい。今があるのは決して自分の力ではなく、支えていただいた方々、そして私を育ててくれた埼玉県のおかげだというふうに思っています。ですから、県民の皆さんに感謝の気持ちをお返ししていくこと、それが

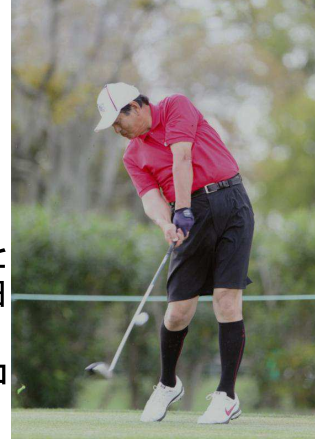
私の使命だとも思っています。

また、今後もこうした思いを実現するために、決して諦めないという気持ちをもって職務に励んでいきたいと、こんなふうに思います。

《趣味について》

一次の質問です。ここからは、齊藤議長のプライベートなども伺ってまいります。趣味というと、どのようなことが挙げられますか。—

議長 そうですね。スポーツは全般的に好きですね。ゴルフは、大学生の頃にゴルフ部の主将を務めたこともあるんです。ですから、特に大好きです。当時、全日本で団体3位入賞を果たしたんですよ。今でも時間を見つけてラウンドはしています。実は山に登ってキノコ採りをしたりもするんです。



—身体を動かすことがお好きなんですね。お忙しい日々の中で、趣味も充実されていますね。—

議長 実はですね、私は地元のサッカー協会やソフトボール協会の会長を務めています。それから少年野球の大会の際にも積極的に顔を出して子どもたちに声をかける、ということを中心に掛けています。ある意味では、これも趣味の一つと言えるかもしれませんね。

—先ほどのボランティアのお話にもありましたが、議長は昔から子どもたちとの触れ合いを大切にされてきたんですね。—

議長 はい。青少年の育成というのは私の原点でもあります。生き方そのものだというふうにも思っています。今後も、若い人たちがですね、夢や希望を持てる社会づくりに積極的に取り組んでいきたい、こんなふうにも思います。

《座右の銘》

—座右の銘、あるいは常に心掛けていることはありますか。—

議長 はい。「人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くがごとし。」徳川家康が残したとされている言葉であります。人生というのは、まさにこういうことだろうと思います。人生は長く、苦労の連続だけれども、努力を怠ることなく一步一步進むことが大事である。

私も、皆さまへの感謝の気持ちを胸に、ひたむきに努力を重ね、与えられた仕事を精いっぱい行っていきたい、そんなふうに考えております。

《今後の抱負》

—最後になります、今後の議会運営に当たっての抱負をお聞かせください。—

議長 はい。私たち議員は、県民の皆さまの声を県政に反映させるため、積極的に政策を提言をしていくことが、県民の負託に応える道であると考えております。

二元代表制の一翼を担う県議会が、その役割を果たすことができますよう、各会派の皆さんの声をよく取り入れながら、高橋副議長と共に力を合わせ、公正かつ円滑な議会運営に全力で取り組んでまいりたいと思っております。

県民の皆さまには、今後とも県議会に対する一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

—齊藤議長、今日はありがとうございました。—

議長 こちらこそありがとうございました。また、いつでもお越しいただきたいと思っております。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間:

6月18日

～6月22日

作者:

池坊明流

小渋恭園様

花材:

ギガンジウム

(昇龍)、ヤツ

デ、カサブラン

カ、ナルコラン

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈池坊明流 小渋恭園様〉

Q: 複雑にカーブした昇龍というお花が印象的です。

A: ギガンジウムの昇龍はこの作品の主役であり、その曲線美が見どころの一つとなっています。

生けるときには、茎のカーブから作品のイメージを膨らませていきます。

Q: この作品に用いた花材についてお聞かせください。

A: カサブランカをナルコランやヤツデの葉の中に生けることでカサブランカの純白と葉の緑色が対比されます。落ち着いた色味の上品な仕上がりとなりました。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

